

で11万超 数130万戸突破

・5%、50戸未満の管理棟数比は、単棟型が80社となった。

組合が52.5%となった。受託している超高層マンションは首都圏と近畿圏で約90%を占めている。155社が新たに11万7052戸を今年度中に受託する予定だ。

「ビル経営管理士試験」

10月1日受付開始

日本ビルディング経営センター(櫻井康好理事長)は、12月10日に札幌、仙

台、東京、名古屋、大阪、福岡の6都市で実施する「ビル経営管理士試験」の受験申し込みを10月1

日の受験申し込みを10月13日に受け付ける。不動産特定共同事業法に基づき国土交通大臣登録証明事業として行う公務資格。試験合格者は実務経験を満たすことでビル経営管理士の登録ができる。

標準マンション 価格指数が最高値

日本不動産研究所

日本不動産研究所は9月14日、「住宅マーケットインデックス2017年上期」の調査結果をま

とめた。それによると、都心5区(千代田・中央・港・新宿・渋谷)のマンション賃料は、新築と中古の標準タイプが134・8と最高値を付けた。(築10年)の大型物件と小型タイプは横ばいで推移したが、標準タイプが

同委員会では、所有者不明地所有権が不明でも手続地制度のあり方を調査。明土地の発生を予防するき可能な収用や区画整理審議し、年内に中間報告をとりまとめる方針だ。

管理協 3
A4判8冊。一般150円
(税込み、送料別。以下同じ)、
会員100円。

価格については、新築の大型(147.2)と小型タイプ(116.5)が調査開始以来の最高値の指数を記録した。中古の標準タイプ(76.6)は9期連続、小型タイプ(87.9)は10期連続で上昇し、こちらも最高値を更新した。

幌、仙台、新潟、名古屋、岡山、福岡の6会場は詳細が決まり次第、事務局のホームページ(URL)に掲載している。

http://snj-sw.jp)に掲載する。参加は事前申し込みが必要。詳細はホームページに掲載している。

木造・木質化など 提案受け付けを開始

国土交通省

国土交通省は9月12日、2017年度サステナブル建築物等先導事業

住宅・建築物の木造・木質化によるリーディングプロジェクトを支援する。建築物の木造化、内装・外装の木質化を図る一般建築物と、CLT工法等先導的な設計・施工技術を導入する木造の実験棟を対象とする木造実験棟が対象。

応募期間は10月11日必着(第1回)。10月12日

野球リーグ発足5周年 大学不動産連盟 神宮で記念試合

建設・不動産業に従事する17大学の卒業生有志からなる大学不動産連盟(UREL、藤村茂理事)を主催した。各大学OB選手と家族など総勢約100人が参加した写真。



2012年に6校6チームで初開幕した同リーグの発足5周年記念試合。各大学の選抜選手によるオールスター戦のほか、参加選手が順次打席に立つメモリアルパ

ツティングタイムや観戦者にグラウンドを開放した「ファミリータイム」を設け、花火も打ち上げた。豊富な見せ場に、終始歓声が上がった。オールスター戦は、早慶日専選抜チームと明法立中駒選抜チームが対戦し、5対2で早慶日専選抜が勝利。リーグ最高齢選手で発足時から参加してきた白門会(中央大学OB会)の西田茂登美氏が表彰を受けた。

リーグ戦は11月15日に品川で終盤戦「リーグアワード2017」を迎える。現在は11チーム・450人が登録している。